

## 既存建築物の建替えの際の敷地拡大の特例

	書類の種類	明示すべき事項等	提出部数
1	申請書	①法第 43 条許可申請書 ②適合証明申請書 ③ 審査概要書	各 1 部
2	現況写真	①排水状況の分かる 2 方向以上の敷地現況写真（撮影年月日記載） ②敷地の位置（申請地を赤色で囲んでください。）	1 部
3	付近見取図	①縮尺 2500 分の 1 以上 ②方位 ③敷地の位置（申請地を赤色で明示ください。）	1 部
4	公図の写し	不動産登記法第 14 条第 1 項に規定する地図又はこれに準ずる図面の写し （申請時より 3 ヶ月以内に発行された原本） ①申請地は赤色で囲み、 <u>拡大敷地部分のみ赤色で着色</u> してください。 ②道路は赤色、水路は青色、堤塘敷はうす墨色で着色してください。	1 部
5	土地の全部事項証明書	申請時より 3 ヶ月以内に発行された原本	1 部
6	従前敷地・用途を示す書類	次に掲げる書類のいずれかひとつ 建築確認済証、建築計画概要書の写し、都市計画法第 43 条許可書の写し	1 部
7	既存建築物の現存確認書類	次に掲げる書類のいずれかひとつ 直近の納税通知書（課税明細書）、評価証明書、課税証明書、公課証明書、名寄帳	1 部
8	その他	①代理人申請の場合は委任状（来庁時に身分証明書持参のこと） ②既存建築物が属人性を有するもの（専用住宅又は兼用住宅）であって、許可を受けた者と建替え許可申請者が異なる場合は、建替え許可申請者の戸籍謄本の写し。 ③許可申請者が土地の所有権を有していない場合は、「土地使用貸借契約書」又は「土地の売買契約書」等の写しを提出してください。 ④敷地拡大の合理的事情を示した書類（理由書、配置図、各階平面図、住民票等） ⑤排水その他において、占用許可や使用承諾を必要とするものはそれら。 ⑥その他必要と認められる書類。	必要に応じ 各 1 部
9	配置図	①縮尺 ②方位 ③がけ及び擁壁の位置 ④敷地の境界（境界線には官民境界・隣地境界等の説明を明示） ⑤排水施設（汚水及び雨水）の位置、種類、人槽、流向、吐口の位置及び放流先の名称 ⑥敷地内における建築物又は第一種特定工作物の位置、用途及び規模（建築面積、延べ面積、建ぺい率及び容積率の算出式）を示してください。 ⑦申請に係る建築物又は第一種特定工作物と他の建築物又は第一種特定工作物との別 ⑧敷地の接する道路の位置、名称、建築基準法根拠及び幅員	3 部
10	求積図	縮尺 500 分の 1 以上（土地、建物）※建築敷地が公簿を上回る場合は隣地を侵食していないことを証する隣接土地所有者の立会証明書、又は土地家屋調査士の押印のある求積図を提出してください。	〃
11	各階平面図	①縮尺 ②間取り <sup>1</sup> ③各室の用途	〃
12	立面図	①縮尺 ②建築物の高さ（最高高さを記載） ※2 面以上のもの	〃

※ 許可申請書「4」及び適合証明申請書「適合内容」の記載 …… 令 36 条第 1 項第 3 号ホ  
（既存建築物の建替えの際の敷地拡大の特例）